

正智深谷高等学校特別コラム

Mind Charging

Since 2020

第373回

セリーナ・ウィリアムズ

の名言

発行：入試広報室

発行日：令和5年10月20日

編集委員：入試広報室 鈴木



今回の言葉

You have to believe in yourself
when no one else does.

誰も自分を信じていない時でも、
自分は自分を信じなければならない。

セリーナ・ジャメカ・ウィリアムズは、アメリカ・ミシガン州サギノー出身の女子プロテニス選手。身長175cm、右利き、バックハンド・ストロークは両手打ち。これまでにWTAツアーでシングルス73勝、ダブルス23勝を挙げている。無類の強さで圧倒的な成績を残してきたことから、女子テニス史上最高の選手と称される。

Column

さすが『女子テニス史上最高の選手』と称される人物の言葉です。セリーナ選手を含めたトップアスリートのメンタルの強さに改めて“一流”を感じました。私が現役選手だった頃、不調が続いて悩んでいた時期がありました。当然ながら不安を抱えている私の様子は他のチームメイトにも伝わっていたのでしょうか。スタッフ陣にも『今回の活躍は期待できないな…』と感じさせてしまっていたと思います。そんなある日の練習終わりに先輩に呼び止められ“どんな時でも自分に期待をして努力できるのが真のアスリートだ！気持ちなんて今この一瞬で変えられるから！”と励まされたことがありました。そのおかげで気持ちを切り替え、思い切ってプレーすることができたことを覚えています。“仲間”や“言葉”の持つ力というものは本当に大きいですね。

弱い私は、困った時は仲間にとんどん甘えていいと思っています。困った時だけでなく常に甘えていいと思っています。なぜなら自分のことを自分“だけ”で支えるのは非常に難しいことだと思うからです。よく耳にする『困った時はお互い様』という言葉がありますが、私の中では『困らないためのお互い様、困った時はさらにお互い様』です。困難を乗り越えるために最終的にはもちろん自分が頑張らなくてはいけないですが、そこまでのプロセスの中で、自分一人よりも仲間と力を合わせた方が絶対により良い結果に結びつくと確信しているからです。そういう意味では自分自身は弱いですが、仲間がいるということは自分にとって大きな“強み”と言えます。今回の言葉も掘り下げて考えれば『誰も自分を信じていないと感じる時でも絶対に仲間の誰かは自分を信じてくれている。そんな自分を自分自身が信じてあげなければならない』ということなのだと思います。

今後もきっと様々な困難が私たちの人生の中で訪れると思います。その度に“大ピンチ！”と感じると思います。そんな時、家族や仲間を思い出してください。かけがえのない存在に囲まれているみなさんがクリアできないはずがありません。自分を信じてチャレンジしましょう！